

月刊

# さわやか

第31号  
平成21年11月15日

《発行》  
(社)日野市シルバー  
人材センター  
日野市日野本町2-4-7  
0421581-8171

## 全シ協「全国経験交流大会」(中野サンプラザ)で 当センターが安全就業報告



発表する橋本氏(左)と飯森氏

全国シルバー人材センター事業協会(全シ協)の平成21年度全国経験交流大会が10月19日、東京・中野区の中野サンプラザで開催されました。全シ協主催、厚生労働省後援です。

大会の主な内容は、征矢紀臣全シ協会長の挨拶、普及啓発月

間ポスター受賞者の表彰、日本生産性本部 北浦正行参事の特別講演、および3件の事例発表。

実は、この事例発表のうち1件が、当センターの安全就業対策についてと題する報告。安全管理委員長の橋本理事が30分にわたって報告し、飯森副委員長がプロジェクターを操作しました。

この大会には、当センターから北村会長も出席しました。

橋本理事の報告は、この数年来当センターが「事故ゼロを目指す」をスローガンとして取り組んできた安全就業対策を分かりやすく説明したものの、事故情報の早期伝達、約100名の安全推進委員(職場リーダー)による周知徹底就業現場パトロール、各種の安全講習・研修、早朝・夜間・自働車運転ライセンス制度等々が主

会員数

平成21年9月30日

1,675名

男性 1,282名

女性 393名

入会者数  
9月 29名  
(男21名、女8名)

但し、退会者 23名

要な内容です。

事例発表の他の2件は、さいたま市SCの「傾聴ボランティアの取り組み」と、兵庫県SC協会の派遣事業についてでした。

### 第4回地域班長会議

諸課題で活発に意見交換

第4回地域班長会議が10月14日、生活保健センターで開催されました。最初に北村会長が、来年度中に新公益法人への手続きを終



第4回地域班長会議

え、平成23年度から新体制に移行するよう準備をしていく」と挨拶しました。続いて事務局より、事業運営状況の報告、会員配布資料の説明がありました。

後半は、各地域班長からの質問や意見。今回もボランティア活動に対する会員の意識の問題、これに班長がどう対応するか、また配布物の負担など諸課題で活発な意見交換がおこなわれました。

一斉清掃での班長報告に参加者名簿は要らないのでは、との意見があり、今回から人数だけの報告でよいことになりました。しかし池田常務理事から、班長として参加者の把握はしておいて欲しいとの要望がありました。(渋谷)

### 2009フェア・イベント

11月20日(金) 午前9時半  
午後3時半  
八王子市子安市民センター  
で開催

会員の皆様、ぜひご参加を。

今回6ページ建て  
3、4面に「地域班会議での質問にお答えします」  
4面に「地域班長だより」

# 今年度2回目 全地域班が一斉清掃

## 約480名が参加 日野ケーブルテレビが初取材

秋色の候にしては汗ばむ陽気の10月18日(日)、今年度2回目の当センター全地域班一斉清掃が全市25カ所で展開されました。今回、日野ケーブルテレビが取材。参加者は計約480名でした。

日野ケーブルテレビが取材に入ったのは、先方の都合で平山1号班連合による平山城址公園駅周辺の道路清掃。同テレビの一斉清掃取材は初めてです。

午前9時に駅前に集合した両班の28名は、高木・羽入両班長の指揮の下、数コースに分散して路上のゴミを拾い集め、その様子を随時、カメラがとらえていきます。



日野ケーブルテレビの取材(平山地域で)

### 公園にゴミが散乱

他方、同じ午前9時、日野台2班では、日野台公園内に8名が集合。栗山班長の説明後、公園の中のゴミ拾いから開始。落葉の間に紙屑が目立ち、ベンチの傍らにはカップラーメンの容器やコート空き缶が多数。「危ないなあ」と砂場から、木の枝を拾う会員もいて、すぐにゴミ袋も膨らみます。次に向かった日野台住宅内は道路にゴミもなく、キンモクセイの香りが漂っていました。

### ロータリーのゴミが減る

多摩平1班は豊田駅北口10時に集合。今井班長が参加者16名を確認して飲食街の坂道のゴミを拾い始めました。参加者からは「ロータリーの周辺がずいぶんきれいになった」「われわれのボランティアが自覚を促しているのでは?」との声もありました。(マナ)



集合した日野台2班の皆さん

### SC普及啓発月間 高幡不動駅前PR

シルバード人材センター 10月普及啓発月間にあたり、当センターは10月28日、京王線高幡不動駅前で、センターPR、会員募集のチラシとセンター名入りティッシュの配布をおこないました。これには総務部会と広報部会から5名が参加。当日は不動尊縁日でもあり、用意したチラシ・ティッシュ300組は直ぐ無くなりました。

一斉清掃の記事と写真は、これまで報道できなかったが、報道が少なかつた地域班を優先して扱っています。

### 理事会二ニュース

第8回理事会 10月31日

審議事項 正会員の入会一般経理事務の新規受注中止について

報告事項 平成22年度日野市補助金について 互助会的

事業の補助打ち切りについて等

9月事業実績 各専門部会・安全管理委員会の活動報告

### 「センター」行事日程

11月14日(土) 15日(日) 産業まつりに出席

11月20日(金) 第七ブロック「フェア・エイト」 八王子

市子安市民センター

12月7日(月) 就業期限確認書交付式 〓 センター会議室

12月10日(木) 役員・地域班長合同研修 〓 立川政府倉庫

1月14日(木) 地域班長会議 〓 生活・保健センター

### 配分金の支払日

- 11月20日(金)
- 12月18日(金)
- 1月20日(水)
- 2月19日(金)
- 3月19日(金)
- 4月20日(火)
- 5月20日(木)

# 地域班会議での質問に

## お答えします

今年度前期(春)の地域班会議にて寄せられた質問から15項目にわたってお答えします。(総務部会)

1 就業人員の段階的削減や就業時間の短縮等、センターを取り巻く環境が非常に厳しくなってきたりしている現状を踏まえて今後どのように就業の拡大、確保を図っていくのか? 指定管理者制度による企業公社等の台頭に脅かされていると思うが。

適材適所を考慮した個人情報とは、十分活用されているのか?

回答 就業会員の決定については、就業調整委員会で選考しています。公平の原則を守り、未就業期間を優先しながら、過去の就業実績などを基準としており、個人情報を活用しての選考ではないことをご理解ください。

回答 就業申込みをインターネットでできないか?

回答 就業申込みを事務局で直接行うのは、詳細な就業内容や条件を確認した上で申し込んでいただくからです。利便性によるインターネットでの就業申込みは、現在のところ考えていません。

回答 就業申込みを事務局で直接行うのは、詳細な就業内容や条件を確認した上で申し込んでいただくからです。利便性によるインターネットでの就業申込みは、現在のところ考えていません。

2 就業決定はどのように行われているのか。その場合、落選者に対するフォローは? 公共性や

4 就業者選考の基準等があればオープンにしてもらえないか?

回答 就業調整委員会設置要綱には「会員の希望、適性等を総合的に判断して、就業会員を調整するものとする」とされており、すべての就業者を画一的な基準で選考できないと考えます。

5 就業の受け皿の拡大を望みます(15~20万円の例あり)。

回答 このような額の収入を得たいのであれば、センターでの就業ではなく、企業等への就職や起業をお勧めします。

6 新しい事業の展開を望みます(頭脳労働対応型就業を)。

回答 いわゆるホワイトカラー対応の就業開拓には、市場ニーズの厳しい現実があります。今後より一層努力してまいります。

7 シルバの団体保険がわかりにくい。任意なのに強制的に全員が入り、補償の内容もよくわからない。

回答 シルバー人材センターの

活動は、就業だけではありません。班会議や定期総会、ボランティア活動など多岐にわたったり、それらすべてを網羅する保険が「シルバー人材センター総合保険」です。会員は入会と同時に加入義務が発生し、任意ではありません。補償の内容は、事務局でご確認ください。

8 就業していない会員の保険料納入を減らすべきではないか?

回答 問7で一括回答とします。

9 総会資料の全員配付は無駄だと思えます。総会当日、出席者のみに配付したらどうでしょうか。

回答 定期総会の成立には、委任状での協力が不可欠です。議案の委任にあたっては、内容を精査した上で委任状を提出していただくものですので、事前に全会員に配付する必要があると考えます。

10 ボランティア活動でシルバー人材センターの旗を掲げるのは



いかななものか。ボランティアとは、誰が見ていなくても肅々と自発的に行うもの。

**回答** 地域班一斉清掃は、センターの事業として行っているものです。今後ともご理解ご協力をお願いします。

**11** 選挙事務従事者に毎回同じ人が選考されているのは、問題があると考える。最良の方法をご検討いただきたい。

**回答** 来年2月に執行される日野市議会議員選挙からは、就業希望者を公募することとしました。

**12** 選挙の仕事では、選任もれの人への連絡がほしかった。

**回答** 来年2月の日野市議会議員選挙については、採用不採用の通知をご本人に通知します。

**13** 就業に年齢制限を設けている理由を明確にしてほしい。

**回答** 年齢制限は、「就業年齢制限の設定に関する規程」に

おいて、発注者からの要望とセンターの安全管理上の問題として、平成18年に制定された規程です。夜間の一人就業や脚立を使用する作業など必要最低限の範囲で、安全第一の見地から設定していますので、ご理解ください。

**14** 年齢制限設定の根拠と必要性がわからない。

**回答** 問13で一括回答とします。

**15** 自分では体力的にも対応可能な状態だが、年齢制限のため働くことができない。

**回答** 体力や気力に個人差があることは理解できるところですが、たとえ個々に面接をしたとしても、客観的な評価は大変むずかしいと考えます。ご理解ください。

**「年賀状」印刷を承ります**  
**(年中分も承ります)**

サンルポセンター (588-8171) 及びサンルポ事務所 (581-5900) 受付 随時 お渡し 通常5日後 締切日 12月18日(金)

今年だけサンルポ事務所でも受け付けます。

### 会員票更新者は76%

さる7、9月に実施した会員票更新の結果は、左表のとおりです。

対象者*	723名
実施者	554名 (76.6%)
未更新者	123名 (17.0%)
退会者	46名 (6.4%)

\*平成16年3月末までに入会された方

シルバー帽、ボランティア・ジャンパーご希望の方へ

シルバー帽(会員用帽子) 「日野市シルバー人材センター」名入り。普段用、夏用の2種あり。事務局にて実費1つ840円でお分けします。

ボランティア・ジャンパー着用は強制ではありませんが希望者には貸与しますので、事務局までお申し出ください。

(事務局)

### 地域班長だより

栄町班 大間知 紀彦

今まで50年近く電気工事、ビル管理(電気主任技術者)、マンション管理をしてきました。日野に来てシルバ人材センターに入会して3年、今のお仕事(施設管理)をお世話してもらって2年が過ぎました。

今年の4月に地域班長の2年間の委嘱状をもらいました。ほかの団体の役員もしているので日程の調整に苦労していますが、2年間は地域 会員の方々のお役に立つように、いたらない点も有り

巡り合った仲間を大切に いる人を助けて社会を良くすることです。

二度と繰り返すことの出来ない残り少ない人生。思うようにいかないともありますが、この時代、この場所に巡り合った伴侶・家族 友人 仲間を大切にしようと思えます。

# 久留米市・中野区SC代表が来訪 当センターの安全就業等を視察研修



久留米市SCの3氏と北村会長(左端)

福岡県の久留米市シルバ人材センター(SC)から10月16日、高山邦命理事・安全管理委員長、稲吉保積理事、井口洋事務局職員、3氏が当センターを訪問されました。また11月2日には、東京・中野区SCの大沼弘常務理事、事務局長、原島賢一事務局職員の来訪がありました。

森安全管理副委員長が応対し、橋本理事がビデオ等を交えて、安全就業対策について説明しました。内容は、全シ協「全国経験交流大会」での事例発表(「面参照」とほとんど同じです。



中野区SC代表の2氏と橋本理事(右端)

このあとの質疑応答では、両SCの側から重篤事故の有無、安全管理委員、安全推進委員の活動、安全管理への事務局の係わり等について質問が出されました。これに対し当方は、センター設立以来重篤事故を一件も起こしていないこと、安全管理をはじめ各専門部

会活動など多くのセンター事業に事務局だけでなく、多くの会員も参加している旨説明しました。

### 現場での早期問題解決を 統括リーダー会議で討議

第4回統括リーダー会議が10月15日、センター会議室で開催されました。出席者は統括リーダーの橋本、横関、高木3氏、千田氏は欠席、および池田常務理事、事務局長、伊藤事業部会長、田村同部会員。

会議では池田事務局長より、会員が就業現場で問題を起こした場合の対応について提起がありました。こつした問題処理のため就業問題特別委員会が設置されていますが、同委員会では処理する前に統括リーダーが直接現場で問題解決に当たってほしいというのが、提起の趣旨。

これに対し統括リーダー側からは、これまで仕事の方角の不満などで当人と話し合って解決した事例が示され、今後さらに問題が委員会にあがる前に早期に解決をはかっていくことで、全員が意思統一しました。

「生き生きカルチャー教室」  
講師募集 (4月開講分)  
申込み(詳細) 11月25日  
(水)までに事務局・岡へ

### 講座例

- 1 文学・歴史・教養講座  
古典、漢詩、小説、短歌、俳句、川柳、歴史など
- 2 アート講座  
水墨画、絵手紙、木版絵、ちぎり絵、写真、生け花、茶道、書道、ペン字、手芸、パッチワーク、工芸など
- 3 外国語講座  
韓国語、中国語、英語、

### それってなに?

### ライセンス制度

正式には「自動車運転ライセンス制度」と言い、平成18年12月1日に発足しました。当時、当センターでは介護車両の送迎など自動車運転で就業する会員や、その業務が急増。同時に事故も増えました。それに対応して制定されたのがこの制度。運営内容は主として、運転実技、介護車両の操作、交通安全などの講習会の実施。講習会は、就業で自動車運転をする会員を対象に年数回、自動車教習所の多摩コースで行っています。

## 第8回 自動車運転 ライセンス講習会

制度発足して早や3年  
全国SCでも有数の存在

運転就業者 19名が受講

第8回自動車運転ライセンス講習会が10月21日、自動車教習所多摩コースで実施されました。今回の参加者は19名。講習内容は毎回ほぼ同じで、運転実技は死角についての講義、安全運転についてのビデオ講義等。今回は介護車の操作は無し。

講習開始の挨拶で橋本安全管理委員長は、当センターの自動車運転ライセンス制度(5面それぞれなに?)「参照」が発足して3年近くになること、しかもこうような制度を持っているシルバー人材センターは全国でもごく僅かであることを強調しました。

〔平成21年度安全標語佳作〕  
健診を 受けて我が身の

自己管理 渡邊邦夫(南平)



挨拶する池田事務局長

次に池田事務局長が挨拶に立ち、運転ミスで焼け付いたクラッチを見せながら、「こいつ危険なミスを冒さないためにも、安全運転の知識と技能をしっかりと身につけよう」と呼びかけました。

運転実技では、参加者全員が3台の車で交互に、発進、走行、一時停止、右折左折、切り返し、幅寄せ等を実施。とくに幅寄せでは数回試みても成功しないケースもありました。死角・安全運転についての講義は、お馴染みの日野警察署・佐野講師によるもの。

## 第七ブロック安全研修

町田SCで32名が参加

南多摩地域など8市(八王子、府中、調布、町田、日野、狛江、多摩、稲城)のSCから成る第七ブロックの安全就業研修が10月29日、町田市SCで実施されました。テーマは安全就業の事例発表と意見交換。参加者は計32名。

当センター安全管理委員会からは吉澤千尋委員ら5名が参加。吉澤氏は就業前のKY(危険予知)活動、作業中の声掛け確認などの事例発表をおこないました。

## 安全管理委員の職場訪問 始まる

本紙9月号でお知らせした安全管理委員会による職場訪問(対象は公共職場計55カ所)は、9月の開始以来、順次続けられています。各職場リーダー、就業委員の皆様のご協力をお願いします。

## 事故報告は直ちに!

事故を起こした会員は、直ちに事務局に報告してください。遅れると対応に支障をきたします。励行するようお願いいたします。

(安全管理委員会)

## 「んにちわ 赤ちゃん」

夏井 美保子

「オギャア オギャア」と泣き声の間「え、「おめでとうございませ、男の赤ちゃんですよ」と、女の人の声もする。

私の顔の横に泣いている赤ちゃんが抱かれてきた。

「元気な坊やですよ」「ハイ、お母さん、んにちわ」

と、看護士さんの笑顔と優しい声。赤ちゃんが目が合つてドキッ! パッチリと目が大きくてかわい真赤なほっぺに、もうひっかけ傷がある。小さい手を振りまわしながら口を大きく開けて泣く赤ちゃんに私はそっと声をかけた。

「んにちわ、赤ちゃん」

そのとき、部屋のドアが開いて「よくやった、頑張ったなあ、よかった。くくるっさん」

はずんだ大声と一緒に汗を拭きながら夫が入ってきた。夫と目を合わせたたん、結婚して六年目にやっと母になれた私は、ただ涙が溢れた。

早いもので、この息子が三十五歳になる。息子が、父親と同じ思いを持ってくれる日はいつ来るのだろう。私は、ただ待ち遠しい。